

4. 保健コーナーはありますか。

1. ある 2. ない



4a. 場所はどこにありますか。

- 1. 職員室の中
- 2. 事務室の中
- 3. 職員更衣室の中
- 4. 図書室の中
- 5. 倉庫の中
- 6. その他

{ }

4b. 保健コーナーに関する問題点はどんなことですか。(複数回答可)

- 1. 園児が入りにくい
- 2. トイレが遠い
- 3. 園内の様子がわかりにくい
- 4. 他の教諭との連絡がとりにくい
- 5. 養護教諭の職務以外の仕事をまかされてしまう
- 6. 衛生的に問題がある
- 7. 相談活動がおこないにくい
- 8. その他

{ }

5. 幼稚園の養護教諭の職務とはどのようなことだと考えますか。また、今現在の仕事内容にどのようなギャップがありますか。(箇条書きで結構です)。

幼稚園養護教諭の職務

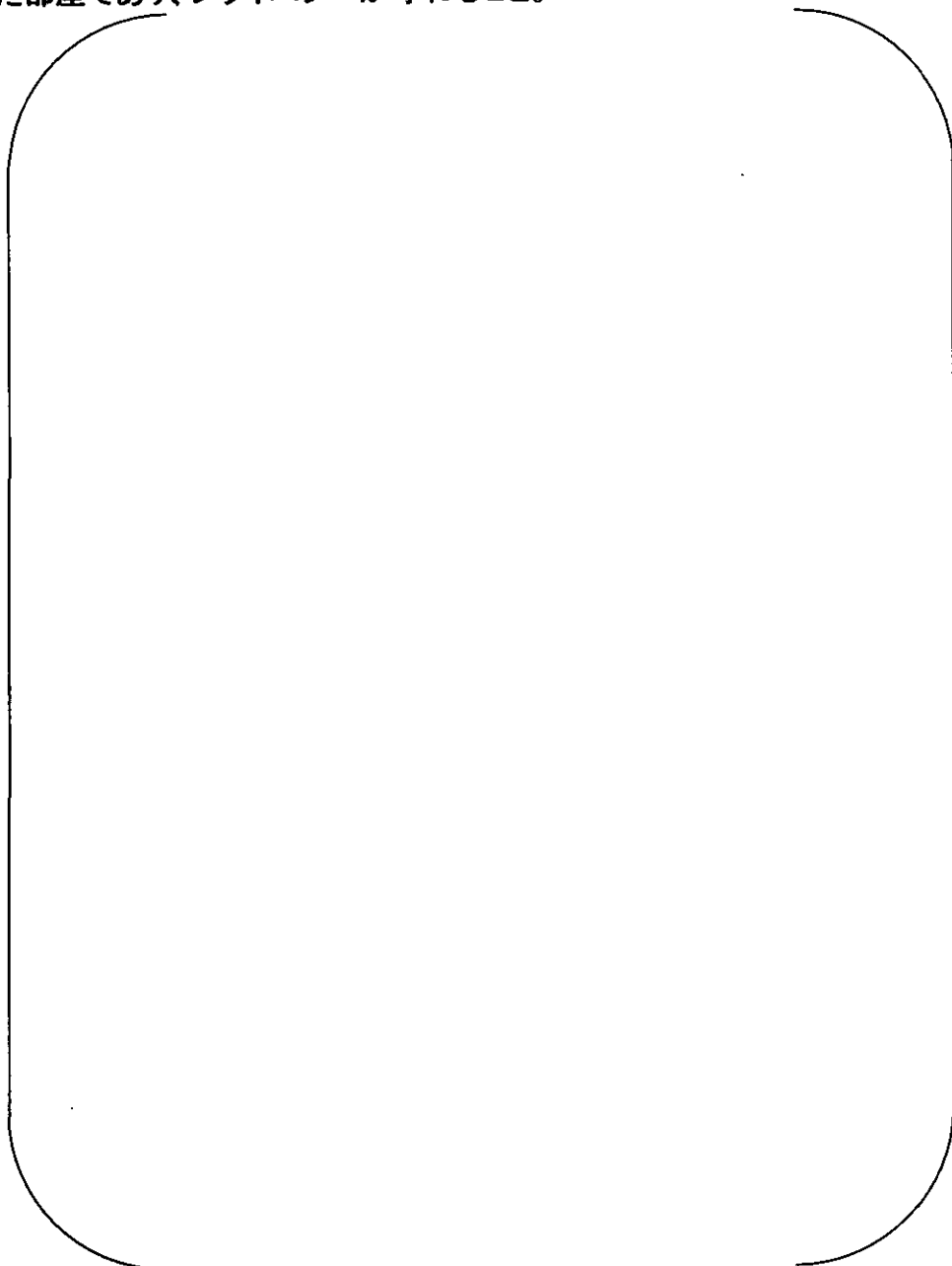
今現在の仕事とのギャップ

例:保健指導を計画的におこなう。

例:行事や幼児の園生活の関係で、時間を予定していても、できなくなることが多い。

6. 幼稚園の養護教諭の職務をおこなうにあたり、保健室に必要だと考えることはどのようなことですか。当てはまるものすべてに○印を、その他に考えることを〔 〕内に記入してください。

1. 保健行事ができる広さ(1クラスの数が入る)があること。
2. 園庭や保育室が見渡せる場所にあること。(園の中心にある)
3. 子どもたちが健康に興味をもつような掲示物を貼り、保健指導をおこなうこと。
4. 子どもたちに分かりやすい絵本や資料を充実させること。
5. 病気やけがの手当てができること。
6. 子どもたちが自由に出入りできる部屋であること。
7. 保護者も利用できる(下の子のおむつ替えや授乳時など)こと。
8. 子どもがゆったりと安心して話しができること。
9. 保護者との相談コーナーがあること。(ソファなど)
10. 独立した部屋であり、プライバシーが守れること。
11. その他



7. 学校保健法で設備基準が下記のように定められていますが、現在幼稚園で使用して必要と思われるものすべてに○印をつけてください。他に必要なものがあれば、〔 〕内に記入してください。

- | | | |
|------------------|-----------------|------------------------|
| 1. 机(救急処置用・事務用) | 24. 巻尺 | 46. 背筋力計 |
| 2. いす(救急処置用・事務用) | 25. 座高計 | 47. 血圧計 |
| 3. ベッド | 26. 国際標準式試視力表 | 48. 照明燈 |
| 4. 寝具類及び寝具入れ | 及び照明装置 | 49. 体温計 |
| 5. 救急処置用寝台及びまくら | 27. 遮眼器 | 50. ピンセット |
| 6. 脱衣かご | 28. 色覚異常検査表 | 51. ピンセット立て |
| 7. 長いす(待合用) | 29. オージオメーター | 52. せん刀 |
| 8. 器械戸棚 | 30. 額帯鏡 | 53. 膿盆 |
| 9. 器械卓子 | 31. 捲(けん)綿子 | 54. ガーゼ缶 |
| 10. 万能つぼ | 32. 消息子 | 55. 消毒盤 |
| 11. 洗面器及び洗面器スタンド | 33. 耳鏡 | 56. 毛抜き |
| 12. 薬品戸棚 | 34. 耳鼻科用ピンセット | 57. 副木・副子 |
| 13. 健康診断格納庫 | 35. 鼻鏡 | 58. 携帯用救急器具 |
| 14. ついたて | 36. 咽頭捲(けん)綿子 | 59. 担架 |
| 15. 湯沸し器具 | 37. 舌圧子 | 60. マウス・トウ・マウス
用マスク |
| 16. ストップウォッチ | 38. 歯鏡 | 61. 松葉杖 |
| 17. 黒板 | 39. 歯科用探針 | 62. 救急処置用踏み台 |
| 18. 懐中電灯 | 40. 歯科用ピンセット | 63. 洗眼瓶 |
| 19. 温湿度計 | 41. ツベルクリン反応測定板 | 64. 洗眼受水器 |
| 20. 冷蔵庫 | 42. 聴診器 | 65. 滅菌器 |
| 21. 各種保健教育資料 | 43. 打診器 | 66. 汚物投入器 |
| 22. 身長計 | 44. 肺活量計 | 67. 氷のう・氷まくら |
| 23. 体重計 | 45. 握力計 | 68. 電気あんか |

69. アスマン通風乾湿計
70. カタ温度計
71. 黒球温度計
72. ガス検知器
73. 照度計
74. 塵埃(じん・あい)計
75. 騒音計
76. 黒板検査用色票
77. 水質検査用器具
78. プール用水温計
79. プール水質検査用器具

80. その他

今現在、保健室や保健コーナーで感じていることなどを教えてください。

8. 養護教諭が休養中の園児の観察を落ち着いてできないと感じるときがある。

1. はい 2. いいえ

9. 園児と養護教諭が一对一の関係をづくりにくいと感じる時がある。

1. はい 2. いいえ

10. 保護者と養護教諭が一对一の関係をづくりにくいと感じる時がある。

1. はい 2. いいえ

11. 園児のプライバシーが保ちにくいと感じるときがある。

1. はい 2. いいえ

12. 養護教諭の専門職務に専念できないと感じるときがある。

1. はい 2. いいえ

13. 保健室や保健コーナーは、養護教諭が心の安定をはかれる場(居場所)の役割を果たしていますか。

1. はい 2. いいえ

3. そう考える理由を教えてください。

14. 保健室・保健コーナーでどんなときに幼児を休養させていますか。(複数回答可)

1. 発熱時 2. 腹痛時 3. 体調が悪いとき 4. けがをして安静が必要なとき(打撲など)
5. 情緒不安定なとき 6. 友人関係でトラブルがあったとき
7. 幼児が求めるとき 8. 早退まで保護者の迎えを待つとき
9. 疲れを訴えたとき 10. その他

15. 保護者が保健室・保健コーナーを利用するときは、どんなときですか。

1. 健康についての相談に来る時
2. 子育てについての相談に来る時
3. 乳児のおむつ替えや授乳の時
4. 保護者自身の休養
5. その他

(

)

16. 他の教諭が保健室・保健コーナーを利用するときは、どんなときですか。

1. 子どもの心の安定をはかる時。
2. 子どもの話を落ち着いてきく時。
3. クラスの子どもについて相談に来る時。
4. 子どもと一緒に健康に関する絵本をみたり、養護教諭に話をきいたりする時。
5. その他

(

)

17. 子どもから、幼稚園養護教諭はどのような存在だと考えられていると思いますか。

1. けがや病気を治してくれる
2. 話をゆっくりきいてもらえる
3. 困ったときに助けてくれる
4. 独り占めできる
5. 体のことならなんでも知っていて、教えてくれる
6. その他

(

)

18. 保護者から、幼稚園養護教諭はどのような存在だと考えられていると思いますか。

1. けがや病気を治してくれる
2. 健康についての情報や知識を教えてくれる
3. 子育ての悩みについて相談できる
4. 気軽におしゃべりできる
5. 子どもが安心して頼れる
6. その他

(

)

19. 他の教諭から、幼稚園養護教諭はどのような存在だと考えられていると思いますか。

1. 病気やけがを治してくれる
2. 担任と連携して保健指導をする
3. 子どもや保護者が安心して頼れる
4. 保育補助をする
5. 教職員の健康相談ができる
6. その他

()

20. 他の教諭との連携で大切だと考えていることを書いてください。今現在、おこなっているものには○印を記入してください。

例:○・保育後、子どものことで情報交換をする。

()

21. 保護者との連携で大切だと考えていることを書いてください。今現在、おこなっているものには○印を記入してください。

例:○・けがや体調を崩したことについて、降園のときに伝える。

()

22. その他、どんなことでもご自由にお書きください。

()

ご協力ありがとうございました。

幼稚園における養護教諭の配置状況に関する全国基礎調査

山口智佳子 奈良教育大学教育学部附属幼稚園
小松原かおり 京都教育大学教育学部附属幼稚園
石原知恵 兵庫教育大学学校教育学部附属幼稚園
江寄和子 京都市立崇仁小学校
松浦賢長 福岡県立大学看護学部地域国際看護学講座
山縣然太郎 山梨大学大学院医学工学総合研究部保健学Ⅱ講座

幼稚園は学校である。学校保健のスタートの場である。その学校保健を担う中心的な存在が幼稚園養護教諭だと考えた。文部科学省の学校基本調査では都道府県別で幼稚園養護教諭の配置数が把握されているが、どの市町村のどの幼稚園に養護教諭が配置されているのかという詳細までは把握できない状況にあった。幼稚園養護教諭の職種内連携を確立していくためにも、配置の詳細な情報を得ることが必要だと考え、どのようなルートでどのような組織や個人にあたっていけば、その全貌を把握できるのかについて、本研究班の大学教員からコンサルテーションを受けた。その結果、人的ネットワークを駆使し、全国における幼稚園養護教諭の配置状況のある程度詳細に把握することができた。調査する中で、小学校養護教諭が兼務していたり、学校基本調査にはあがってこない「保健職員」として幼稚園には、健康支援をする職員が配置されたりしていることが分かり、今後、市町村単位でさらに詳しく、配置状況を調査し、より正確な情報をえていくことが課題として示された。

I. 研究の目的

最近では徐々に、幼稚園における養護教諭の活動に関する調査や研究も進められてきており、その執務内容や役割などが議論されはじめるようになってきている。

現在、幼稚園に配置されている養護教諭の数は非常に少なく、平成14年度の学校基本調査では国公立を合わせて361園（配置率2.5%）であった。

幼稚園の養護教諭の職務に関する研究をおこなうにあたり、全国のどこに養護教諭が配置されているのかということが把握されていない現状のもと、まず、どのようなルートでどのような組織・個人にあたっていけば、幼稚園養護教諭の配置に関する全貌がみえてくるのかを研究することを目的とした。

II. コンサルテーションの内容と具体的な方法

本研究班に所属する大学教官からコンサルテーションを以下のごとく受けた。

1. 問題の整理・分析とアクションの優先度

幼稚園養護教諭の職務についての研究を始めようとしていたが先行研究で行われていることもあり、養護教諭の配置状況と職種内連

携に関するニーズがどれほどあるかを探る調査をすることをアドバイスされた。

2. 情報把握における問題の明確化と仮説の構築

- ①先行研究にあたる（※1）など、配置状況に関する資料・データがすでに示されていないかどうかについて事前に調べをアドバイスされた。
- ②アクションの立案・実行・各組織へのアプローチの方法について指示を受けた。
- ③様々な組織で、幼稚園養護教諭に関する情報はどのように把握されているのか、まずはその仮説をたてることをアドバイスされた。

3. キーパーソンへの質問の整理

幼稚園養護教諭の配置率が高い大阪府、兵庫県のキーパーソンに聞くべきことをリストアップするようにアドバイスを受けた。配置率が高い理由や配置率が高いところで、養護教諭同士の連携はどう行われているのか、配置に至までの経緯はいかなるものかなど、質問項目を整理することをアドバイスされた。

4. 大阪、京都などのキーパーソンへの取次ぎ

大阪市学校保健会（市立養護教諭研究会）の幼稚園部会の会長（キーパーソン）へ、情報提供に関するお願いをコンサルタントとともに起こった。

大阪府下に関しては大阪府の養護教諭研究会の会長（キーパーソン）へコンサルタントから情報提供のお願いをしてもらい、大阪府下の配置情報を得ることにした。

京都の小学校養護教諭をキーパーソンとしてコンサルタントから紹介してもらった。その小学校養護教諭に、京都府教育委員会への問い合わせをしていただいた。さらにその知己の養護教諭に、京都における幼稚園養護教諭の配置状況を聞いていただいた。

5. 研究データの取り扱い方

未発表のデータは他者が引用できないこと、本研究で得たデータは目的外の利用はできないことなどの、基本的事項をコンサルタントから説明された。

6. 日本公衆衛生学会自由集会への参加

日本公衆衛生学会の自由集会へ参加することをコンサルタントからアドバイスされた。本研究班主任研究者や学校保健を専門とされる大学教員をコンサルタントから紹介される。ここでは、幼稚園の養護教諭の状況や健康診断について情報交換することができた。

7. 研究班会議への参加

主任研究者から、幼稚園の現状と課題（問題点・疑問点）の明確化、アピールの方法など客観的なアドバイスを受けた。

- 1) 幼稚園に今まで養護教諭が配置されていなかったのはなぜか。今までいない状態ですんでいたのはなぜか。
- 2) 養護教諭がいるのに保健室がないところがあるのはなぜか。→学校保健法には養護教諭や保健室を置くことが明記されている。しかし、幼稚園設置基準法には「置かなくてもよい」とされていて曖昧である。
- 3) たとえば、小学校や中学校に養護教諭

や保健室がないところに、保護者は子どもをあずけたいと思うだろうか？校長がいるのに校長室がない状態ではないか。

- 4) 現在約2.5%の配置率で全国に幼稚園養護教諭が配置されているが、どういう経緯で配置されるようになったのか。
- 5) 幼稚園教諭や保護者のニーズはどうか。次世代育成支援から考えても、これから重要視されていくことではないか。
- 6) 幼稚園は「学校」である。しかし、学校保健が整備されていないのではないか。→幼稚園教諭養成では、「小児保健」の単位取得は必修だが、「学校保健」の単位取得が必修ではないことが考えられる。
- 7) 小中学校では全国的に養護教諭同士の横のつながりがあるが幼稚園はないのはなぜ。→全国養護教諭研究会には幼稚園部会がない。
- 8) 以上のことをみるだけでも重要な課題だ。現状と課題をマスコミを通して全国にアピールしていくことが大切だろう。

8. 他職種の紹介および今後の展開

奈良県の保健師をコンサルタントから紹介される。後の、地域保健担当者との研修会開催を共に立案することになる。同職種連携のその先にある他職種との連携を視野にいれはじめることができた。

9. 養護教諭の配置状況のまとめ

全国の幼稚園養護教諭の配置状況リストを作成した（表4：今回の研究で把握している分）。

III. 調査の方法

表1は、調査に際して、事前に仮説をたてアプローチを試みた結果をまとめたものである。

文部科学省が実施している学校基本調査により、幼稚園養護教諭の配置状況が詳細に把握できると考えていた。しかし、文部科学省の学校基本調査からは、都道府県別の数を知ることができる、市町村単位や幼稚園名などを具体的に把握することができない。すなわち、都道府県単位レベルの数の把握はできても、どの幼稚園に配置されているかまでは、把握できなかった。

また、都道府県の教育委員会レベルでも把握されていないことがしばしばみられた。そこで、主に人的ネットワークや「幼稚園・養護教諭」をキーワードにインターネット上の検索活動によって配置状況を調査することになった。

表1. アプローチを試みた結果

アプローチを試みた組織など	問い合わせた分かってきたこと
先行研究	大阪・兵庫・三重・北海道の多数の幼稚園に養護教諭が配置されていることがわかる。
文部科学省	文部科学省HPにアクセス学校教育基本調査の統計から都道府県別では分かった。また、文部科学省統計担当者に電話して詳しいことを聞く。市町村単位、園名までは把握しておらず、また、把握していても公表しないということが分かる。
都道府県教育委員会	配置数の多い府県へ電話して聞く。市町村単位までは把握していない。
全国養護教諭連絡協議会	各都道府県や政令指定都市の養護教諭研究会の参加人数を把握している。各研究会に参加している人数と文部科学省(学校教育基本調査の統計)の数値と異なっていた。
保健関係の出版社	園名は把握しているものもあるが、顧客データとなるので公表できないとのこと。また、全国全てを把握しているわけではない。 バックナンバーから、掲載されている養護教諭のいる幼稚園名を探っていくしかない。
人的ネットワーク	同じ組織や知り合いの養護教諭から各都道府県内の情報を得る。詳しいことを把握するには人的ネットワークを活用する方法が有効。

IV. 考察と今後の課題

公的な機関が、幼稚園の養護教諭の配置について詳細な情報を把握しているとは限らないことがわかった。幼稚園の管轄は市町村であるため、そのすべてを都道府県教育委員会が把握しておらず、さらに学校基本調査にもそのすべてがあがってきておらず、文部科学省でも正確な

配置状況数値が把握できていない可能性があった。

今回、人的ネットワークを通じたアプローチやインターネット上の検索によって情報を得ていった。今回の研究により、全国の配置状況を完全に把握したとは考えないが、学校基本調査ではあがってきていないところまで把握することができたといえる。

幼稚園では、隣接する小学校の養護教諭が兼務していることが分かってきた。その場合、幼稚園には、けがの手当てなどをする職員（養護教諭もしくは保健職員）が配置されていることが分かってきた。この調査をもと、その後おこなった調査（幼稚園養護教諭における同職種内連携ニーズに関する調査）の自由記述からは、さらに詳しいことがわかってきている。幼稚園には「養護教諭」としてではなく、「保健職員」として保健関係の職務をおこなう職員が配置されていることや、「保健職員」は、免許もそれぞれで「養護教諭」ではなく「保健師」の免許で採用されていることもわかってきた（eg. 滋賀県）。

今回は主に人的ネットワークによって調査したため、今後、市町村単位でさらに詳しく配置状況を調査し、正確に裏づけをとっていく必要がある。また、私立幼稚園についてはもれている可能性が高いと考えられるので、今後、同職種内連携の確立の過程において、配置状況を把握していくつもりである。

V. 調査の具体的な方法と結果

表2. 調査における経過

大阪市	大阪市立幼稚園教諭から60園全てに養護教諭が配置されている情報を得た。A附属幼稚園養護教諭に大阪市立幼稚園養護教諭を紹介していただき、その先生から大阪市学校保健会(市立養護教諭研究会)の幼稚園部会の会長を紹介される。コンサルタントとともにあいさつにうかがい、研究の趣旨を理解していただき、全市の幼稚園養護教諭に調査に協力してもらえるようになった。
-----	---

大阪府	<p>大阪府に電話で大阪府下の情報を問い合わせたが、把握しておらず各市町村の裁量に任せているということであった。</p> <p>大阪市学校保健会(市立養護教諭研究会)の幼稚園部の会長に大阪府の養護教諭研究会の代表者を紹介していただき、コンサルタントに大阪府の代表にとりついでもらう。そこから府下の幼稚園養護教諭の配置状況を知る。しかし数はわかったが、幼稚園名まではわからなかった。そこで、各市の幹事に電話して研究の趣旨を伝え、調査に協力していただく。</p>
岐阜市	岐阜市立の幼稚園養護教諭に調査を依頼し、岐阜の幼稚園養護教諭を紹介してもらった。
滋賀県 大津市	現在大津市立の幼稚園で教諭に、大津市の状況を聞き配置状況や実態がわかる。
京都府	府下小学校養護教諭に府下の職員名簿から幼稚園に養護教諭がいる園を紹介してもらう。
京都市	市内の養護教諭研究会の名簿にて、幼稚園と兼務の小学校養護教諭を調べる。後の兼務の小学校養護教諭より、全市幼稚園に、非常勤職員で保健職員と呼ばれる実質養護教諭的な職員がいることがわかる。府下小学校養護教諭が以前市内の幼稚園で養護教諭として勤務していたのでそこからも4園の配置状況が分かった。
神奈川県 川崎市	川崎市立幼稚園養護教諭に連絡をつけると、すでに廃園になっていた。その園が、川崎市立幼稚園協会の準備室になっているので、川崎市の幼稚園養護教諭がいる園に研究の趣旨を説明して訪ねたところ、11園あった幼稚園が統廃合して2園になりそこに幼稚園養護教諭がいることがわかった。
北海道	附属幼稚園養護教諭から情報を得る。
私立 (大阪)	「幼稚園・養護教諭」をキーワードにインターネット検索して調べる。大阪府の私立幼稚園については、大阪府内スーパーにあった。幼稚園紹介の情報誌「大阪府私立幼稚園ガイドブック2004」(無料)にて調べた。

その他 私立	「幼稚園・養護教諭」をキーワードにインターネット検索し、幼稚園のホームページを見つけて調べる。
私立 (京都)	保健関係月刊誌のバックナンバーより調べた。
三重県	附属幼稚園養護教諭から情報を得る。
兵庫県	兵庫県養護教諭連盟の名簿より調査。
神戸市	神戸市の幼稚園住所録から、神戸市については幼稚園養護教諭が全市配置されているので名簿をみて調査した。
奈良県	奈良県の学校住所録より調べた。
福岡	保健関係月刊誌のバックナンバーで調べた。

表3. 平成14年度幼稚園の養護教諭数
文部科学省学校基本調査統計より

	全国		国立		公立		私立	
	男	女	男	女	男	女	男	女
計	4	357	0	32	0	285	4	40
北海道	1	26		2		20	1	4
青森								
岩手		2		1		1		
宮城		2		1				1
秋田		1		1				
山形		3		1				2
福島		2						2
茨城		1		1				
栃木		2		1				1
群馬		2		1		1		
埼玉								
千葉		4		1		1		2
東京	1	6		1			1	5
神奈川		16				15		1
新潟	1	2		1		1	1	
富山								
石川		1		1				
福井		1		1				
山梨		1		1				
長野		1		1				

岐阜		5			5	
静岡		2			1	1
愛知		2	1		1	
三重		20	1		19	
滋賀		7	1		5	1
京都		7	1		5	1
大阪		128			124	4
兵庫		69	1		63	5
奈良		4	1		3	
和歌山		2			2	
鳥取						
島根		10	1		9	
岡山		1	1			
広島		5	1		3	1
山口		2	1		1	
徳島		1	1			
香川		2	1			1
愛媛		3			1	2
高知						
福岡		6	1		1	4
佐賀						
長崎		1			1	
熊本		3	1			2
大分		1	1			
宮崎	1	1	1			1
鹿児島		2			2	
沖縄						

埼玉	1	1			
千葉	1	1			
東京	7	2		5	
神奈川	2		2		
新潟	2	2			
富山	1	1			
石川	1	1			
福井	2	1		1	
山梨	1	1			
長野	1	1			
岐阜	5		5		
静岡	1	1			
愛知	1	1			
三重	18	1	17		
滋賀	35	1	33	1	
京都	29	1	13	3	12
大阪	147	1	140	6	
兵庫	117	2	114	1	
奈良	4	2	2		
和歌山					
鳥取	1	1			
島根	2	1	1		
岡山	1	1			
広島	4	2	1	1	
山口	1	1			
徳島	1	1			
香川	1	1			
愛媛	1	1			
高知	1	1			
福岡	2	1	1		
佐賀	1	1			
長崎	1	1			
熊本	1	1			
大分	1	1			
宮崎	1	1			
鹿児島	1	1			
沖縄					

表4. 今回の調査で把握している幼稚園養護教諭の数

	兼務 (小学校養護教諭)				
	全体	国立	公立	私立	
	432	49	347	21	15
北海道	24	2	18	1	3
青森	1	1			
岩手	1	1			
宮城	2	1		1	
秋田	1	1			
山形	1	1			
福島	1	1			
茨城	1	1			
栃木	1	1			
群馬	2	1		1	

今回新たに把握した分

文献

※1 後藤ひとみ他, 「幼稚園における養護教諭の活動に関する調査」の報告, 平成12年

幼稚園養護教諭の同職種内連携にむけた保健指導教材の開発に関する研究

山口智佳子 奈良教育大学教育学部附属幼稚園
松浦賢長 福岡県立大学看護学部地域国際看護学講座
山縣然太郎 山梨大学大学院医学工学総合研究部保健学Ⅱ講座

幼稚園養護教諭の連携は全国的にはなされておらず、その職務についても確立されているとはいえない状況にある。幼稚園において用いられる保健指導教材についても、小学校低学年向けに開発されたものを幼稚園において用いているという現実がある。本研究班がおこなった「幼稚園養護教諭における同職種間連携ニーズの調査」においては、幼稚園児を対象とした保健指導の材料や健康教育の教材が求められていることが示唆された。そこで幼稚園児にあった保健指導教材を開発していく必要があると考え、幼稚園養護教諭の手による保健指導教材（紙芝居）を開発しえたので報告する。

I. 目的

本研究班による「幼稚園養護教諭における同職種間連携ニーズの調査」によると、幼稚園養護教諭にあった研修・研究会や情報交換の機会がほしいという回答が98.1%で、高いニーズを示していた。また、これからどのような研修や情報交換をしたいかという質問に対しては、「保健指導について」が82.9%、ついで「教材研究について」が69.3%という結果がみられていた。幼稚園児対象の保健指導教材は少ないため、幼稚園養護教諭は、実践を重ねながら自前の教材をつくっていることが多いと思われる。そこで、今回ニーズの高い保健指導教材を開発し、全国の幼稚園養護教諭に提供し、連携確立の材料とすることを目的とする。

II. 方法

幼稚園養護教諭が作成し、それをもとに保健指導をおこないえた紙芝居を基本に、幼児期の健康、幼児に対する保健指導と教材のあり方について考察した。

この紙芝居は、歯みがき指導に用いた教材であり、保健関係の雑誌でも紹介され、幼稚園養護教諭のみならず、小学校、養護学校の養護教諭からも、保健指導や学校保健委員会でも使ってみたいと好評をえたものである。

III. 幼児期の子ども

幼児期は、人間形成の上で、重要な時期といわれ、この時期にどのように過ごしたか、どのよう

なものを身につけたかということが、生涯を通じての生き方に大きな影響を与えているといわれている。

幼稚園教育要領の中の領域「健康」でも、「健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活をつくり出す力を養う」と示されているように、幼児自身が、自ら健康に関心をもち、自ら健康な生活を楽しみながら維持、促進しようとするような健康で安全な生活を営み、それをつくり出すような力を育てることが重要である。幼児期の発達を促すためには、まず、幼児が興味や関心をもったものに対して自分から関わるができるようにすることが必要だと考えた。また、遊びを中心とした生活の中で幼児自身が自らの生活と関連づけながら、好奇心をいただき、必要感をもって環境とかかわることが大切である。

IV. 幼児と歯の健康

幼児期は、乳歯が永久歯に生え変わり、第一大臼歯（6歳臼歯）が生え始める時期である。幼児はこの体の変化に関心をもち、成長を喜び、自分の歯に興味をもちはじめ。子どもが自分の歯に興味をもち大切にしたり、自ら虫歯を予防したりする意識や態度はこの時期から身につけていく。

学校保健統計の疾病・異常被患率等別の状況を見ると、どの学年段階をみても「むし歯（う歯）」が最も高くなっている。幼稚園のむし歯（う歯）被患率（処置完了者を含む）は平成15年度58.8%で、10年前の平成5年度の75.7%と比べると大きく改善されつつあるが、むし歯の被患率

を各学校段階で見ると小学校71.3%、中学校67.7%、高等学校77.9%となっており、年齢別にみると17歳が81.9%と最も高くなっている。このようなことから、幼児期で歯の健康を考えていく基礎を培うことは、健やか親子21の観点からしても食育の観点からしても、たいへん重要な課題といえる。

V. 幼稚園における保健指導の考え方

幼稚園教育要領では、「基本的な生活習慣や態度を育成すること」を示し、「健康で安全な生活の基盤となる、基本的な習慣や態度を育てる」ことを目標のひとつに掲げている。幼稚園教育では、幼児が生活の中で自発的・主体的に環境とかかわりながら直接的・具体的な体験を通して、「生きる力」の基礎となる心情、意欲、態度などを身につけられるような指導に努めることが重要なポイントである。

幼稚園でおこなう保健指導は、幼児の健康問題を取りあげて、自ら判断し、行動することができるよう実践的な能力や態度を育成し、さらには望ましい習慣形成を目指すものである。そのため、幼児期におこなう保健指導も、生涯にわたる健康の基礎を培う大切なものであるといえる。また、幼稚園の保健指導では、子ども達が自らやってみよとするきっかけとなり、すぐできたできないという評価にとどまることなく、日々、個人の保健指導も行ないながら、長期的に援助していくことが肝要である。

さらに、家庭との連携も大切である。幼児の生活は、家庭などでの生活を基盤とするものであり、切り離して考えることはできない。家庭との連携をはかっていくことは、幼稚園では比較的小さいやすく、機会をとらえて家庭と連携をもつことが子どものよりよい成長を促すことができ、幼児の発達にとって重要な役割を担っている。

例えば歯みがきの場合、幼児が自ら磨いたあとの、保護者の点検や仕上げみがきが大切である。これは、歯のみがき方をていねいに教えるのと同様に、むし歯にならないよう歯の管理の面から必要であると考えからである。幼児が、歯みがきの意味や仕方などが次第に分かり、必要性をもって自分からすすんでできるよう、幼稚園での保健指導の様子を知らせたり、歯の健康に関する情報を伝えたり、また、家庭での様子を聞いたりする

など、園と家庭とが連携をとり、一貫性をもった幼児への指導が必要と考える。

VI. 幼稚園での保健指導教材の実際と作成の経緯

幼児の実態や興味関心を把握し、発達段階を考慮した保健指導の内容や教材づくりが必要である。一般には幼児向けの保健指導教材が少なく、子ども達の姿から健康課題を見つけ、手づくり人形や紙芝居を考えていくようにしている。また、発達段階をみても興味・関心が異なる子どもたちなので、年齢に応じた教材・お話づくりを心がけていくようにしている。紙芝居は、視覚的にも子どもには分かりやすく幼児の動機づけとして効果的な教材として活用している。

子どもたちは「先生！歯が抜けたよ。」「大人の歯が生えてきたんだよ。」「6歳臼歯がでてきたよ。」と、嬉しそうに話す。この分かりやすい体の変化に、子ども達もとても関心をもつようだ。乳歯から永久歯に生え変わる大切な時期を迎えようとしている子どもたちに歯をみがく習慣が付き、子どもたちが自らやってみようと思うきっかけになることを目的に、「とんでった は」の紙芝居を作成した。

VII. 「とんでった は」を保健指導に用いて

子どもたちが一番驚くところは、「だいちゃん」の歯が「すっぽーん」ととんでいってしまうところである。幼稚園で本教材を用いて保健指導を実践したところ、思わず口に手をあてる子もいた。

途中で、大きな口をあけた絵が出てくる。そこでは、歯科医が歯のみがき方を教えてくれているかのように、子どもたちに話をすすめられるように工夫した。実践では、大きな歯ブラシをつくり、歯のみがき方を指導した。物語の中に指導の部分を取り入れることで、子どもたちも話を聞き、興味をもってみがき方を覚えることが期待される。

VIII. 使用のポイント

この紙芝居を用いて幼稚園児たちと楽しい時間を過ごすことが、この保健指導の最大のポイントだと考える。単に、歯みがきをしないと歯が嫌がって口の中からとんでいってしまうという教訓的な話で終わるのではなく、子どもたちがファンタジーを感じることでできる展開が望まれる。子

どもたちに伝えたい事柄のエッセンス（ここでは歯のみがき方）をそこに少し加えてみるというスタンスがよいと思われる。

この教材「とんでった は」が、子どもたちにとって何度も味わいたくなるような関心を引き出す教材になることを期待したい。

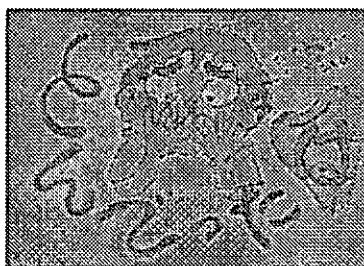
《参考文献》

幼稚園教育要領解説，文部省/フレーベル館，平成11年6月

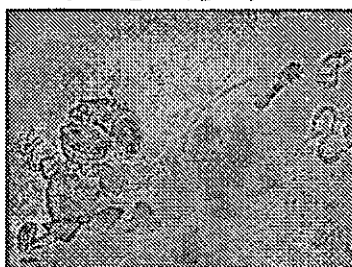
健康教室「平成15年度学校保健統計調査速報」，東山書房2004年3月号6－31

吉田啓一郎/西連寺愛憲 編集代表；新しい歯の保健指導の授業と展開，ぎょうせい

資料. 保健指導教材として開発した紙芝居 (原図B4サイズ)



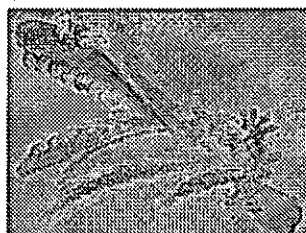
紙芝居 とんでった は
さく やまぐち ちかこ
え さかぐち ゆか



① だいちゃんは はみがきがだいっきらい。



② 「はみがきしないとむしばになるわよ。」
と、おかあさんにいわれても、
「へっちらだーい！」
と、あそびにでかけてしまいます。
だいちゃんが、はみがきをしてくれないので

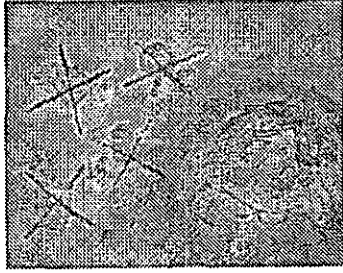


③ すっぽーん!

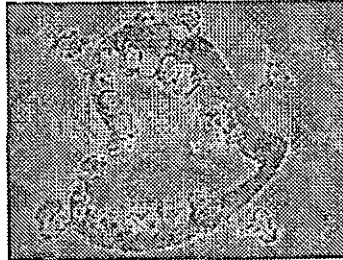
「はみがきしないこのはなんていやだーい！」



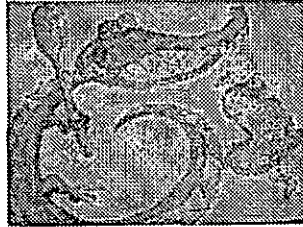
④ は だいちゃんのくちからすっぽりとぬけてしまいました。



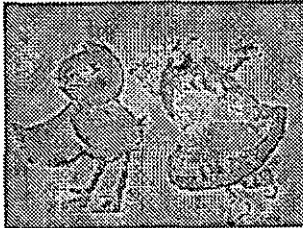
⑤「うわ～ん これじゃだいすきなおやつがたべられないよお～さんが～さんが～さんがあ～。」



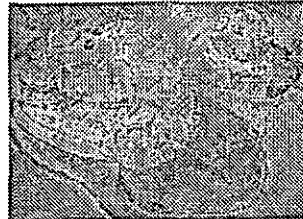
⑥「だいちゃんのは はたびにでました。
「ちゃんとみがいてくれるひとをさがしにいこう。」



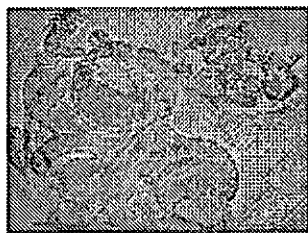
⑦「ねえ、きみ ほくをみがいてくれないかい。」
「おいらのはぶらしじゃおおきすぎるよ。ほかのだれかにたのんでおくれ。」



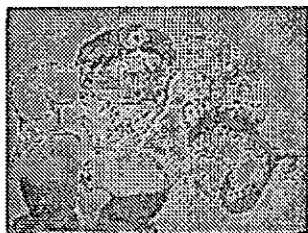
⑧「ねえ、きみ ほくをみがいてくれないかい。」
「わたしには、は がないからわからないわ。」



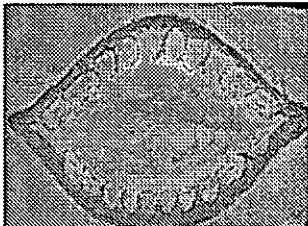
⑨「ねえ、きみ ほくをみがいてくれないかい。」
「いい は があるぞ。どれどれ、わしのいればとこうかんじゃ。」
「むむっっ～！こんなよこれた は はいやじゃいやじゃ！！」



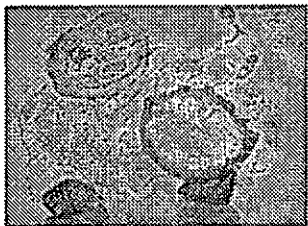
⑩「ねえ、きみ ほくをみがいてくれないかい」
「ばぶばぶばぶ～！きゃはははは～！」
カチャカチャ！！カチンカチン！！
「やめてくれよお～。ぼくはおもちゃじゃないんだよお～。」



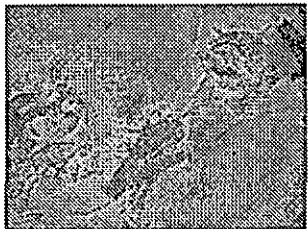
⑪と、だいちゃんのはがこまっていると、
「どうしたんだい？」
と、こえをかけてくれたのははいしゃさんでした



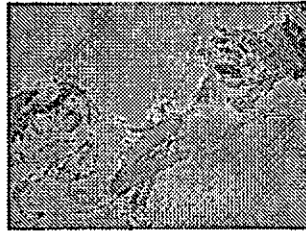
⑫「こうやってみがくと、はがきれいになるんだよ。」
(はみがき指導)



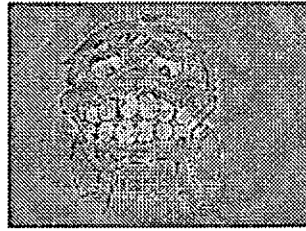
⑬「わーい！すっきりぴかぴか
いいきもち！はいしゃさんありがとう。」



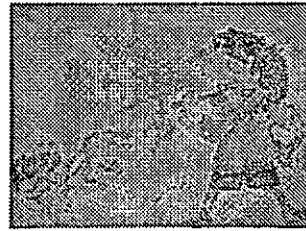
⑭そこへ、
「ふんがふんが ごめんなさい」
とだいちゃんがなきべそをかいてやってきました。
「だいちゃん、これからは、たべたら ちゃんと
はをみがくんだよ やくそくだよ。」
「ふんがふんが やくそくするよお～。」



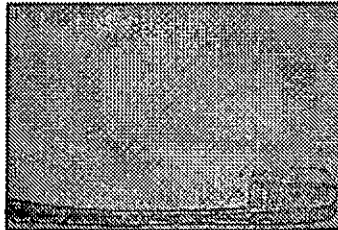
⑭そこへ、
「ふんがふんが ごめんなさい」
とだいちゃんがなきべそをかいてやってきました。
「だいちゃん、これからは、たべたら ちゃんと
はをみがくんだよ やくそくだよ。」
「ふんがふんが やくそくするよお〜。」



⑮だいちゃんの⑭はだいちゃんのくちのなかにもどりました



⑯「これからは ぼく ちゃーんとはみがきするよ。
だってむしばはいやだもん。だからもう どこにもとんでいかないでね。」
— お しま い —



⑰きりってつつかってください

(解 説)

○幼児期の子ども

幼児期は、人間形成の上で、重要な時期といわれ、この時期にどのように過ごしたか、どのようなものを身につけたかということが、生涯を通じての生き方に大きな影響を与えているといわれています。

幼稚園教育要領の中の領域「健康」でも、「健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活をつくり出す力を養う」と示されているように、幼児自身が、自ら健康に関心を持ち、自ら健康な生活を楽しみながら維持、促進しようとするような健康で安全な生活を営み、それをつくり出すような力を育てることを願って、幼児期の発達を促すためには、まず、幼児が興味や関心をもったものに対して自分から関わるができるようにすることが重要です。また、遊びを中心とした生活の中で幼児自身が自らの生活と関連づけながら、好奇心をいただき、必要感をもって環境とかわることが大切であるといわれています。

○幼児と歯の健康

幼児期は、乳歯がグラグラ動き永久歯に生え変わり、第一大臼歯（6歳臼歯）が生え始める時期で、幼児も自分で感じる体の変化としてとても関心を持ち、成長を喜び自分の歯に興味をもちはじめます。子どもが自分の歯に興味をもち大切にしたり、自ら虫歯を予防したりする意識や態度はこれから身についていくところです。

学校保健統計の疾病・異常被患率等別の状況を見ると、どの学年段階をみても「むし歯（う歯）」が最も高くなっています。幼稚園のむし歯（う歯）被患率（処置完了者を含む）は平成15年度58.8%で、10年前の平成5年度の75.7%と比べると大きく改善されつつありますが、むし歯の被患率を各学校段階で見ると小学校71.3%、中学校67.7%、高等学校77.9%となっており、年齢別にみると17歳が81.9%と最も高くなっています。このようなことから、幼児期で歯の健康を考えていく基礎を培うことは、これからも重要な課題といえます。

○幼稚園での保健指導

幼稚園教育要領では、「基本的な生活習慣や態度を育成すること」を示し、「健康で安全な生活の基盤となる、基本的な習慣や態度を育てる」ことを目標のひとつに掲げています。幼稚園教育では、幼児が生活の中で自発的・主体的に環境とかわりながら直接的・具体的な体験を通して、「生きる力」の基礎となる心情、意欲、態度などを身につけられるような指導に努めることが重要なポイントでもあります。

そのこともふまえ、幼稚園でおこなう保健指導は、幼児の健康問題をとりあげて、自ら判断し、行動することができるよう実践的な能力や態度を育成し、さらには望ましい習慣形成を目指すものです。そのため、幼児期におこなう保健指導も、生涯にわたる健康の基礎を培うとても大切なものであるといえます。また、幼稚園の保健指導では、子ども達が自らやってみよとするきっかけとなり、すぐできたできないという評価にとどまることなく、日々、個人の保健指導も行ないながら、長期的に援助していくことが大切であります。

さらに、家庭との連携も大切です。幼児の生活は、家庭などでの生活を基盤とするものであり、切り離して考えることはできません。家庭との連携をはかっていくことは、幼稚園では比較のおこないやすく、機会をとらえて家庭と連携をもつことが子どものよりよい成長を促すことができ、幼児の発達にとって重要な役割を担っています。

例えば歯みがきの場合、幼児が自ら磨いたあとの、保護者の点検や仕上げみがきも大切です。これは、歯のみがき方をていねいに教えるのと同時に、むし歯にならないよう歯の管理の面からも必要であると考えからです。幼児が、歯みがきの意味ややり方などが次第に分かり、必要感をもって自分からすすんでできるよう、園での保健指導の様子を知らせたり、歯の健康に関する